昭和・平成・令和　時を刻んだ時計

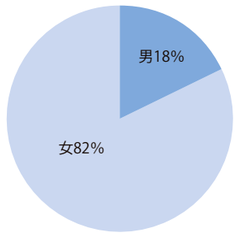
　毎日休むこと無く、通行人や公民館来館者の目に触れていたホール外壁の時計。
　昭和61年新築開館時に、小里消費生活協同組合から寄附されたものです。当時電波時計は珍しく最新式の時計を設置して頂きました。令和３年に故障し、お休み中はご迷惑をおかけしました。少し休んでいましたが、修理が完了し、以前のように時を刻み始め稲津町内を見守ってくれています。

令和３年度　公民館アンケート結果

《調査方法》
年間を通して公民館講座の受講生、まちづくりイベントの参加者にアンケートを実施しました。
※スポーツ文化クラブの教室は含まない。

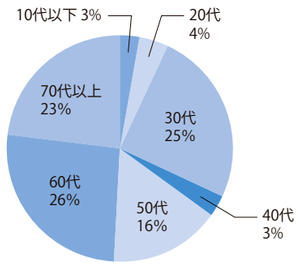
《内　容》
＜性別＞
女性の参加が約8割。令和4年度は男性も参加していただける講座を開講する予定です。
＜年代別＞
全体的には、60代以上の方に多く参加していただきました。30代の方も親子で積極的に参加してくださいました。
＜施設利用＞
自主グループ・学級活動は、コロナ禍のため自粛されました。
＜公民館の役割＞
・地域の人々の集いの場、防災拠点
・町民にとっては必要、防災・部屋利用の他にも役所の用等
・町内の要
・地域の交流・情報の発信
＜今後講座についての要望＞
・高齢者でもついていける講座があるとうれしいです。
・運動
・学びの講座が増えるといいです。
・保育園準備（着替え袋、くつ袋の作り方講座）
・季節のフォトスポットがあると嬉しい。

性別

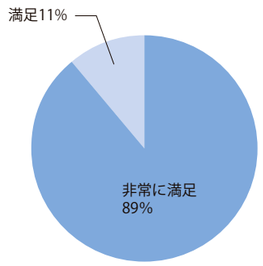


いなつ
まちづくり
ホームページ

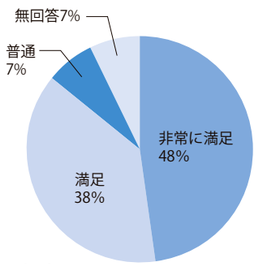
年代別



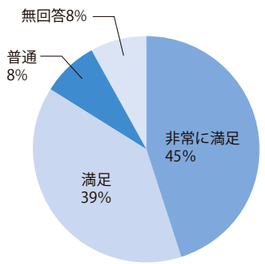
公民館講座受講について



施設について



職員の対応について



アンケート結果をもとに、楽しさあふれる公民館活動を目指します。

まちづくり通常総会 を開催します。

　明日の稲津を築くまちづくり推進協議会にご理解ご協力をいただきありがとうございます。まちづくり協議会が発足して25年、NPO法人格を取得し15年目になります。新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、更に元気な稲津をめざしていきます。
◎日　時：**4月25日（月）**　19時～
◎場　所：稲津公民館　ホール

釜戸の自然ふれあい館って ご存知ですか？
竜吟の森・自然ふれあい館展

　誰もが気軽に立ち寄れるログハウスで、展示や講座を企画しています。多くの方に知っていただくために、稲津公民館ロビーに4月1日（金）から28日（木）まで写真や作品を展示しています。ぜひご覧いただき竜吟の森・自然ふれあい館にもお出かけください。

ii-nuts!!ギャラリー

季節のロビー展示開催中
音吟の森についての展示も開催中です

吊るし飾りで華やかに

　たくさんの吊るし飾りがあったら素敵、と思っていたら町民の方が寄付してくださいました。赤ちゃんや亀や海老、お花など可愛くておめでたい小物がいっぱい吊るされていました。来年も飾る予定ですのでまた見ていただきたいです。

４月の稲津さん

土の魔術師

日置 哲也 さん
45歳（神戸）　カネ利陶料有限会社

　令和２年稲津町文化祭では、特別展に出展して頂きました。
「出身は各務原です。大学時代に職人になりたいと思い立ち多治見工業高校専攻科に入り、卒業後陶芸家のもとで４年間働きました。土作りに誘われ結婚と同時に土やになりました。」
「子どもの頃から絵を描いたり物作りは好きでした。誰とでも仲良くできる、でもグループで遊ぶことはあまりしない子どもでしたが今では、物作りをとおして気の置ける仲間もたくさんできました。」
「土の仕事は朝早く、夏は暑く、冬は寒い大変な仕事です。今では、生活のサイクルになっています。」
「物作りをする人たちに尊敬の念が強く、唯一無二の土づくりをしています。全国の作家さんなど多くの人と会い話す機会が多くとても刺激的です。」
　土作りと作陶、忙しく充実した毎日を送ってみえます。

『区長会』と『まちづくり』は両輪の輪

稲津町区長会長　安藤　昇さん　70歳（神戸）

　このたび区長会長に就任することになりました。
　生まれてから70年間、一度も稲津町から出ることなく過ごしてきました。
　市役所の職員を経て、今はNPO法人「こまどり会」の理事長をしています。
　主な事業は図書館の運営ですが、自主事業として毎月１回屏風山登山を企画しています。
　今までで一番記憶にのこっているのは、市役所に入庁して間のない昭和47年７月に起きた豪雨災害のとき、寝ずに夜通し仕事をしたことです。
　趣味は燻製作り。燻製器は手作りで４台目、既成のものではなく試行錯誤し考えて製作することが楽しいです。
　子どもの頃は、遊ぶことにかけてはピカイチ。不良少年と言われ、周りの人たちにずいぶん迷惑をかけてきました。その恩返しの気持ちもこめて、稲津町のために頑張りたいと思っていますのでよろしくお願いします。

		2月1日現在	3月1日現在	増減
人口	男	2,073　人	2,075　人	2
	女	2,147　人	2,153　人	6
	計	4,220　人	4,228　人	8
世帯数		1,709　世帯	1,716　世帯	7

	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
小　里	4月14日	4月22日
	5月18日	5月26日
萩　原	4月13日	4月21日
	5月17日	5月25日

館長コラム

故郷探訪　小里城

　令和４年度が幕を明けた。新年度稲津のまちづくり推進協議会は、４月２日に城山安全祈願、９日に屏風山山開きから始まる。
　県道20号線瑞浪大野瀬線１号大橋手前から登山道に入り、織旗の間をくぐりながら10分ほどで石垣が積まれた開けた平地の大手門跡と御殿場跡に到着。ここで少しの休憩後いよいよ本格的に山道を登る。登山者とあいさつを交わし、道を譲り合いながら急な斜面を登ること約30分、標高約４５０メートル、かなり疲労が残る頃山頂に到着する。そこには苔むした高さ３メール程の石垣（天守台）が現れる。
　小里城は、織田信長と武田信玄の戦いの織田方の最前線基地となった山城と言われている。小里城は戦国時代に小里光忠が築いたと伝わり、江戸時代初期まで小里氏の居城であったと伝わっている。
　天守台の中央に小さな祠「小里城山神社」が鎮座し、登山者の安全を見守ってくれています。
　小里氏の殿様は小里村の農村風景、春は緑広がる田、秋は黄金色に輝く稲穂を眺めてみえたのだろうか。
　小里城跡の周辺は保安林が多く、発掘調査も難しいと聞く。謎に包まれた小里城跡の山頂から眼下に広がる稲津の風景を眺めながら、歴史ロマンに想いを描いてみてはいかがでしょうか。
　３月から４月には御殿場に桜の花が満開です。是非お出かけください。
（M）